

平成22年11月8日(月) 国土交通省関東地方整備局 企 画 部

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会(平成22年度第5回)の開催結果について

関東地方整備局では、平成22年11月4日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

- 砂防事業 再評価 - - 2件の継続を了承
- 道路事業 再評価 - - 6件の継続を了承
- 港湾事業 再評価 - - 3件の継続を了承

なお、議事概要は、別紙1のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(http://www.ktr.mlit.go.jp/)→ 募集・情報公開 → 公共事業の評価 URLダイレクト入力の場合 http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、刀水クラブ 千葉県政記者会、東京都庁記者クラブ、山梨県政記者クラブ 長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会 千葉市政記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151 (代表) 048-600-1329 (夜間直通)

(別紙1)

関東地方整備局事業評価監視委員会(平成22年度第5回)

議事概要

- 1. 日 時 平成22年11月4日(木)15:00~18:30
- 2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 5階 「共用大会議室501」
- 3. 出席者

「委員長」

家田 仁(東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授)

[委 員]

大野 栄治 (名城大学都市情報学部教授)

岡部 義裕(東京商工会議所常務理事)

佐々木 淳(横浜国立大学大学院工学研究院教授)

堤マサエ(山梨県立大学国際政策学部総合政策学科教授)

山﨑 朗(中央大学経済学部教授)

笠 京子(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)

(敬称略、五十音順)

[関東地方整備局]

局長 菊川、副局長 荒川、総務部長 本東、企画部長 金尾、河川部長 山田、道路部長 縄田、港湾空港部長 北山、営繕部長 遠藤、用地部長 深澤 他

[東日本高速道路株式会社]

関東支社 建設事業部長 川添

4. 議事

- (1) 挨拶
 - 関東地方整備局長
- (2)審議
 - 1) 再評価対象事業の概要説明
 - ・関東地方整備局の砂防事業2件、道路事業6件、港湾事業3件の概要 説明
 - 2) 審議
 - 特に重点的な審議を要する案件として6件選定された。
 - 事務局より説明された再評価対応方針(原案)は、了承する。
 - ①評価対象事業

(砂防事業)

〇富士川水系直轄砂防事業	継続
利根川水系直轄砂防事業(利根川)	継続
(道路事業)	
一般国道 51 号 潮来バイパス	継続
一般国道 51 号 大栄拡幅	継続
〇一般国道 298 号 東京外かく環状道路(千葉県区間)	継続
〇一般国道357号 東京湾岸道路(千葉県区間)	継続
一般国道 357 号 湾岸千葉地区改良	継続
〇一般国道 468 号 首都圈中央連絡自動車道(川島~五霞)	継続
(港湾事業)	
○東京港南部地区東京港臨海道路Ⅱ期整備事業	継続
〇千葉港葛南中央地区国際物流ターミナル整備事業	継続
茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区複合一貫輸送ターミナル	ル整備事業 - 継続

〇:特に重点的な審議を要する案件として選定された事業

<委員からの主な意見等>

(河川事業)

- ・ 砂防事業は長期的展望にたった事業であるが、当面の事業内容については、 定期的に事業内容の点検を実施すること。
- ・ 今後10年間に実施する事業については、当該事業内容を説明資料に明記 すること。

(道路事業)

一般国道 298 号東京外かく環状道路(千葉県区間)については、引き続

き環境保全対策、周辺交通へ与える影響に対する対策に努めることを付 帯意見とする。

(港湾事業)

- ・ 千葉港葛南中央地区国際物流ターミナル整備事業については、需要のモニタリングを行うことを付帯意見とする。
- ・ 事業費の変化要因について分析を行うこと。
- ・ 説得力のある資料作成に努めること。